

# 令和4年度府立近つ飛鳥博物館利用者満足度調査結果

期間：令和4年4月1日～令和5年3月29日

回答数	289
展示室入場者数	20,586
回収率	1.4%

## 1. 記入者について

### 年齢

10歳未満	27	9.4%
10代	48	16.6%
20代	18	6.2%
30代	14	4.8%
40代	28	9.7%
50代	42	14.5%
60代	52	18.0%
70代	48	16.6%
80歳以上	10	3.5%
無回答	2	0.7%
計	289	100.0%

### 居住地

大阪府	208	72.0%
大阪府外	76	26.3%
無回答	5	1.7%
計	289	100%

### 府外内訳

東京都4、千葉県3、埼玉県1、神奈川県1、静岡県1、愛知県1、岐阜県1、滋賀県1、兵庫県12、奈良県30、和歌山県4、広島県1、島根県2、福岡県1

### 博物館の来館回数

はじめて	128	44.3%
1～4回目	63	21.8%
5～9回目	24	8.3%
10回以上	69	23.9%
無回答	5	1.7%
計	289	100%

### 交通手段

(複数回答可)

自家用車・バイク	201	69.1%
電車・バス	66	22.7%
観光バス	0	0.0%
その他	17	5.8%
無回答	7	2.4%
計	291	100.0%

### 大阪府

大阪市	40	19.2%
豊能町	4	1.9%
能勢町	0	0.0%
池田市	0	0.0%
箕面市	0	0.0%
茨木市	1	0.5%
高槻市	1	0.5%
島本町	0	0.0%
豊中市	2	1.0%
吹田市	2	1.0%
摂津市	1	0.5%
枚方市	2	1.0%
交野市	0	0.0%
寝屋川市	3	1.4%
守口市	0	0.0%
門真市	0	0.0%
四條畷市	1	0.5%
大東市	2	1.0%
東大阪市	9	4.3%
八尾市	12	5.8%
柏原市	6	2.9%
堺市	30	14.4%
和泉市	2	1.0%
泉大津市	3	1.4%
高石市	1	0.5%
忠岡町	0	0.0%
岸和田市	0	0.0%
貝塚市	2	1.0%
熊取町	1	0.5%
泉佐野市	0	0.0%
田尻町	0	0.0%
泉南市	0	0.0%
阪南市	0	0.0%
岬町	0	0.0%
松原市	9	4.3%
羽曳野市	7	3.4%
藤井寺市	8	3.8%
太子町	7	3.4%
河南町	11	5.3%
千早赤坂村	0	0.0%
富田林市	20	9.6%
大阪狭山市	2	1.0%
河内長野市	9	4.3%
無回答	10	4.8%
計	208	100.0%

2. 当館（本展覧会）を知った媒体（複数回答可）

ポスター	55	15.1%
チラシ	86	23.6%
新聞	12	3.3%
府市町村広報紙	12	3.3%
雑誌・ミニコミ誌	2	0.6%
テレビ	5	1.4%
ラジオ	1	0.3%
知人	51	14.0%
インターネット	82	22.5%
来館してはじめて	15	4.1%
その他	43	11.8%
計	364	100.0%

（2. ポスター・チラシ内訳）（複数回答可）

当館	15	12.3%
他の博物館	42	34.4%
駅	2	1.6%
学校	13	10.7%
その他	50	41.0%
計	122	100.0%

（2. インターネット内訳）（複数回答可）

当館HP	32	69.6%
当館SNS	1	2.2%
当館以外のサイト	13	28.2%
計	46	100.0%

3. 満足度

3-1. 博物館全体について

満足	192	70.1%
やや満足	66	24.1%
やや不満	11	4.0%
不満	5	1.8%
計	274	100%

（無回答15）

3-2. 特別展等について

満足	134	64.7%
やや満足	54	26.1%
やや不満	16	7.7%
不満	3	1.5%
計	207	100%

（無回答31）

3-3. 常設展示について

満足	158	67.8%
やや満足	60	25.7%
やや不満	9	3.9%
不満	6	2.6%
計	233	100%

（無回答56）

3-4. 施設・サービスについて

満足	152	69.4%
やや満足	50	22.8%
やや不満	14	6.4%
不満	3	1.4%
計	219	100%

（無回答70）

3-5.

「近つ飛鳥風土記の丘」について

行った	69	30.0%
このあと行く	64	27.8%
行かない	97	42.2%
計	230	100.0%

（無回答59）

3-5. 行った方におうかがい

満足	44	78.6%
やや満足	12	21.4%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
計	56	100%

（無回答13）

【調査結果を踏まえた対応】

来館者から展示品の撮影について希望があり、秋季企画展では所蔵者から許可をとることができたため、企画展展示資料は撮影可能となった。